減税の範囲拡がる
身障者の軽自動車税

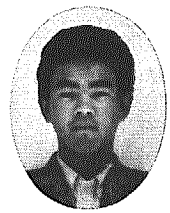
下肢や体幹が不自由のため、歩行が困難の人が、足代わりに専用する軽自動車に対する税金が、申請によって減免されることは、前号でお知らせしたとおりであります。

対象となる範囲は、4級以上とお知らせしましたがその後の通達により、6級以上と改められました。

今後、バイクなどを購入される場合で、該当すると思われる方は、登録の際、申出て下さい。

青年会館の設立を一日も早く

橋本　小林辰一



この青年学級は岩室における青年の農業研修を目的としたサークルの一つだと思います。

そしてこの青年学級において望まれることは、青年学級で養われた豊かな人生経験、緻密な頭脳を持った青年を部落に送り、村の農業発展の為に努力してもらうことにあると思います。

そこで前述のことを実行しようと考えて行くと、私達青年学級の活動に大きな障害となっているのは青年研修所がなく、集会は小学校、中学校又は農協などの公共施設を利用してサークル活動をしている現状です。

私達は立派な青年会館を望んでいるのではありません。

どんなに粗末な所でも、青年の研修と活動を目的とした会館の設立を切望しています。

このことは村でも村政計画で農村青少年の育成、確保を述べているにもかかわらず、青年学級の予算はスズメの涙程であり、この青年会館の件もうまく理由をつけて避けている状態です。

そして青年会館のない町村は県下でも指を折って数える程少なく、そこで村の役人に考えてもらいことは

第16回 岩室地区敬老会
26日、岩室小学校で

回を重ねること第十六回を迎えた岩室地区敬老会を六月二十六日、岩室小学校体育館で開催予定で、その準備にかかっております。

今回の該当者は六月二十六日までに七十歳になられる方々で大体二八〇名位であります。

地区の婦人会、青年団、区長さん方の絶大なご協力により今回も該当者の方々をご招待出来ることを悦んでおります。

今回の敬老会で岩室地区では最高年令者は、男では石瀬の小池文吾さん（91才）女は西長島藤田ノチさん（92才）で元気で働いております。

どうか該当者の方々には例年番付は岩室地区全世帯へ配布し、早目にご案内いたしますから是非おからだに気をつけて元気なお顔をみせて下さい。

岩室村の主体は農業であり当村の米の出荷量も十万俵まであと一歩という所まできました。

農業人口も減少したといっても過半数以上は農民であることは確かです。

従って村政も岩室観光事業に手を出すのも結構ですが「絶対多数の絶対幸福」を願って、農業政策に全力を尽してもらいたいと思います。

そして我々青年学級も当面の問題として、仲間作りや稲作研修も大切でしょうが、それと同時に我々青年学級は青年団と力を合せて青年研修館を一日も早く設立してもらいたいものです。

社会教育委員長に遠藤貞次郎氏

遠藤委員長

去る三月末で任期満了した社会教育委員（公民館運営審議委員兼務）に次の諸氏が任命され、委員長に遠藤貞次郎氏、副委員長に作藤幸男氏をそれぞれ選任した。

伊藤　栄精　岩室小学校長
遠藤貞次郎　岩室中学校長
金子　光威　青年団長
本田　ツイ　和納地区婦人会長
五十嵐徳松　岩室小学校PTA会長
田中　一郎　議会議員
本間　寿む　議会議員
佐藤　幸男　和納三区
坂田　巌　田子島
高山　光子　間瀬七区

公民館長に
桑原氏を再選

五月十二日開かれた公民館運営審議委員会で去る三月末で任期満了した公民館長に桑原教育長（前館長）の兼務に賛成した。

体育指導員を委嘱

社会体育の振興をはかるため公民館職員二名の外、次の四氏を社会体育指導員として委嘱いたしました。

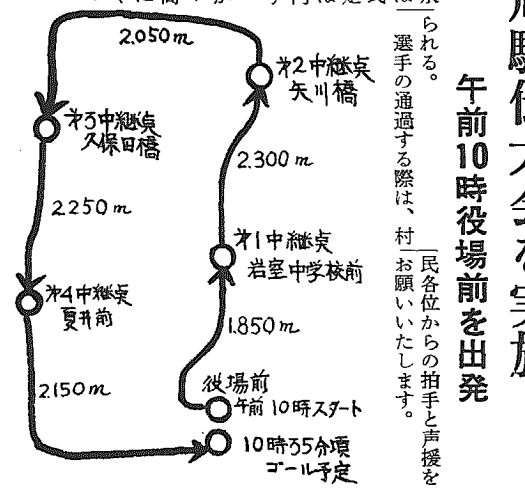
近藤　紀郎（間瀬）
石塚　繁夫（岩室小）
山崎　行夫（岩中）
佐藤　幸男（和納）

新刊図書案内

青春案内　（京都　伸天）
思想の花びら　（亀井勝一郎）
狂った脂粉　（梶山　季之）
それでも女房はこわい　（楠本　憲吉）
終幕　（石原慎太郎）
螢　（水上　勉）
芸者小夏　（舟橋　聖一）
紀ノ川　（有吉佐和子）
風林火山　（井上　靖）
女の顔　（源氏　鶏太）
戦争と人間　（五味川純平）
七人の敵あり　（源氏　鶏太）
三百六十五日　（山手樹一郎）
私をささえた一言　（扇谷　正造）
白い巨塔　（山崎　豊子）
討入り以後　（菊村　紀彦）
女の熱帯　（黒岩　重吾）
二十一歳の父　（曽野　綾子）
神と人との間　（鵜飼　信成）

5日は県民スポーツの日
村内一周駅伝大会を実施
午前10時役場前を出発

新潟国体の総合優勝を永久に記念するため、県では六月の第一日曜日を「県民スポーツの日」として設定したが、この日岩室村では一チーム五名による「村内一周駅伝大会」を実施する。

現在十五チームの参加が予定されており、中学チームの優勝者には村民杯、高校、一般チームの優勝者には県知事杯がそれぞれおくられる。

選手の通過する際は、村民各位からの拍手と声援をお願いいたします。